

成績評価制度（GPT・GPA制度）について

宇都宮大学では、秀・優・良・可・不可の「5段階評価」とする成績評価制度及びGPT・GPA制度を導入しています。「秀」は特に優れた成績で、成績上位10%程度以内とすることが定められています。

・GPT・GPA制度

履修科目ごとの評価を数値化したものを「GP（Grade Pointの略）」といい、1単位あたり次のように定められています。

標語	GP	評価基準
秀	5	目標を十分に達成し、特に優れた成績である
優	4	目標を十分に達成し、優れた成績である
良	3	目標を達成し、良好な成績である
可	2	目標を最低限達成し、合格と認められる最低の成績である
不可	0	目標を達成しておらず、合格と認められない成績である

修得したGPの合計値を「GPT（Grade Point Total の略）」、修得したGPの平均値を「GPA（Grade Point Average の略）」といい、合計または平均する期間により、学期、学年、通算の3種類があります。

GPTおよびGPAは学期毎に算出され、成績通知表に記載されます。また、通算GPAは成績証明書にも記載されます。「不可」もGP = 0としてGPAの計算に算入されることに注意してください。

・GPAの対象となる科目

原則として、次の1、2以外の授業科目が対象となります。

1. 評点を付さずに「合・不合」で評価する科目
2. 編入学または転入学した際の単位認定科目、本学入学前に修得した単位認定科目、など。（ただし、秀、優、良、可、不可の評価をつけて単位認定された場合は、通算GPTと通算GPAに算入します。）

・GPT・GPAの利用法

GPTとGPAは、学習の質を示すわかりやすい指標で、学修状況の検討や今後の学修計画の作成に役立てることができます。成績通知表には、学期毎のGPT・GPA値や累積GPA値が示されます。自主的、意欲的な履修計画に利用してください。

教員等による修学指導においても、GPT・GPAが利用されます。「宇都宮大学及び宇都宮大学大学院における成績不振者対応のガイドライン」において各学部等が定める成績不振者の基準にもGPAが規定されています。また、授業料免除・各種奨学金・留学等の支援対象者の選考に利用されることがあります。（学部・学科などが異なればGPT・GPAの平均点が異なるので、学部・学科などを通して順位付けする場合には用いられません。）なお、卒業するためには、通算GPAが2.0以上であることが必要です。

・履修登録上の注意

履修登録した科目の受講をとりやめた場合、履修登録を確認期間内に取り消さなければ、

その科目の評価は不可または履修不完全（後述）となり、GPAの値が低くなってしまいます。履修登録確認期間後に履修登録内容を変更することはできませんので、期間内に入念に確認してください。

履修登録期間及び履修登録確認期間は、教務ポータルに掲示します。

・履修中止制度について

履修登録確認期間後においても、病気や特別な事情等で修学が継続できない場合、授業科目によって履修中止を認める制度があります。履修中止は、担当部署への申し出により、その授業の担当教員が、やむを得ない事情があると判断した場合に認められます。

・履修不完全

例えば、課題やレポートの提出が何らかの正当な理由で遅れている場合に、教員の教育的な配慮により、成績評価（秀，優，良，可，不可）の確定が延期される場合があります。この場合、その科目は履修不完全と呼ばれる状態にあり、成績表には略号で「履不」と表記されます。何らかの理由で履修が不完全な場合、「履不」とするか「不可」とするかは、教員の判断によります。履修不完全となった場合、その次の学期以降に追加的な評価を受けて、成績評価が確定されます。評価が確定すると、履修した学期の評価として、「履不」の表記が書き換えられます。なお、履修不完全となっている間は、その科目のGPAは0として計算されます。

・成績通知表、成績証明書の記載内容について

成績通知表には、「履修不完全」となっている科目も含め、全ての学修履歴が記載されます。また、学期ごとのGPT・GPA値、通算GPT・GPA値が示されます。

成績証明書には、通算GPA値の他、合格となった科目のみ記載されます。

※詳細については、各学部履修案内に掲載してある「宇都宮大学における授業科目成績の評価及びGPT・GPA制度の取扱いに関する要項」、「基盤教育科目履修規程」及び「各学部履修規程」を参照してください。